

むかつくおじさん、やりたくないボードゲーム (無料配布版)

～世界初(?) 正体隠匿系協力3Dダイスアクションゲーム～

プレイ人数：2人以上喜んで(3～4人くらいまでが適正)

プレイ時間：20分(くらい)

使うもの：サイコロ(立方体のものならなんでも)、おじさんシール(無料ダウンロード可能)、色シール(適当に用意してください)

はじめに

いつものボードゲーム会。

楽しいはずなのになぜかあなたの気分は晴れません。そう、彼がいるからです。

その名は「ボードゲームおじさん」

だってやりたくないゲームばかり押し付けてくるのだから・・・でもそのことはみんな同じ。ならばムかつくおじさんはシャットアウトして、やりたくないゲームは積みゲーにしてみました！

でも簡単にはいきません、なぜならおじさんの協力者が潜んでいるかもしれないのだから・・・

※上記の話はフィクションです。不愉快に感じる方はスルーしてください。特にゲームには関係ありません。

※実在の(?)ボードゲームおじさんはそこまでむかつきません(笑)

※ゲームには罪はないので積みゲーにせずどんどん遊びましょう。

ゲームの目的

おじさんをなるべく表に出さないようにダイスを積んだり置いていく協力ゲームです。でもやっぱり自分だけは楽しくやりたいという正体隠匿ゲームでもあります。そう、これは世界初(?)の正体隠匿系ダイスアクションゲームなのです。

勝利条件

他のプレイヤーにバレないように自分の色を表に出して、最も多くのポイントを獲得したプレイヤーが勝利。もしくはおじさんサイドになり、おじさんを三つ以上並べる(高さ関係なく並んでいればOK)と勝利です。

□ゲームの準備

1. ランダムにダイスをひとつ選び振ってください(おじさん面が二面以上あるダイスは除く。そのまま上面を固定した中央に置いてください(横面の向きはどちらでも))

2. 他のダイスは見えないように袋なり容器に入れておいてください。
3. 各プレイヤー担当する色を決めます。色カードを裏向けたままシャッフルして各自引いて、他のプレイヤーに見えないよう確認してください。ひとりはおじさんサイドですががんばってください（正直勝ち目はないでしょう笑）
引いたカードは手元に裏向けに置いてください。くれぐれも他言はしないように。ゲーム終了までカードを再度確認することはできません。間違えて違う色だと思ってしまったら・・・それはそれで面白いでしょう。
4. 最もむかつくゲーマーさんがスタートプレイヤーです。幸いにもみなさん良識ある方でしたらジャンケンなどで適当に決めてください。

□ゲームの流れ

1. 手番のプレイヤーはダイスをランダムに一つ取って振ります。
2. 出た面の^{上側}を固定してすでに置いてあるダイスの横に置くか上に積むかしてください。横面はどの面をくっ付けても構いませんが、上面は固定です（ここ重要）
くっ付いたり上に置かれてしまった面は得点になりません。そこは痛い話ですが、おじさんをみんなで協力し隠していきましょう。
3. この時におじさんとおじさんの面をくっ付けて置くことはできません。なぜかという
と・・・ご想像にお任せしますね（笑）
4. ダイスは縦横奥3×3×3の立方体になるようにしていきます。端は揃えて置いてください（ガタガタに置くと最終的に立方体になりませんので）
5. ダイスを置き終わったら右隣のプレイヤーの番です。これを繰り返していきます。

□ゲームの終了

全てのダイスを置き終わるか、ダイスが置かれた時におじさんが4つ以上表に出ている状態になったらゲーム終了。

得点を計算する前におじさんが3つ並んでいないか確認してください。「無いから大丈夫！」と油断しないでください。並べたダイスをそのままそっと持ち上げて底面を確認してください。万が一おじさんが3つ並んでいたら・・・おじさんサイドの勝利です（！）

□得点計算方法

最終的に見えている面が得点になります。同じ色が2つ並んでいる場合別に+1点、3つ並んでいるなら別に+2点してください。高さや奥行きが違うけど並んでいるように見える！安心してください、その場合も+してください。直角に並んでいる場合はダメです。

□ゲームのコツ

おじさんをみんなで隠していく強力ゲームですが、自分の色が見えるように置いていく正体隠匿ゲームでもあります。おじさんを隠しているフリをして自分の色が見えるように置く、いやいやあえて隠すように置いてかく乱させるのもありでしょう。

□補足

1. 万が一、おじさんが4つ以上出て誰も気づかなかつたらそのままゲームを続けてください。人間誰しもミスはするものです。ただし気づいていたのに黙っていたら人間性を疑われてゲーム会に呼ばれなくなるかもしれませんよ??? (笑)
2. そのまま普通のダイスでも代用可能です。色→数字に変換してください。少しゲーム性は変わりますが問題ないでしょう。
3. $3 \times 3 \times 3$ では物足りなければ $4 \times 4 \times 4$ にしてもいいでしょう。少しゲーム時間と必要なダイスの数は増えますが。4人以上ならばそちらのほうがいいかもしれません。
4. 上級ルール(?)としておじさんが3つ以上でゲーム終了もありでしょう。すぐ終わってしまうかもしれませんが。

このゲームに期待できる効果(?)

- ・「自分たちのゲーム会は自分たちで守る!」という強い結束感が生まれる。
 - ・空間認識能力の向上。
 - ・どのタイミングでゲームを終わらせるか現状を把握し先を読む力が身に付く。
- などなど

「こっちのほうがおもしろいやん!」てことがあれば、そちらのルールで遊んでもらえればいいと思います。(ぜひ教えてください)
自作もオススメです(笑)

※このゲームはジョークです。ゲームはみんな楽しく遊びましょう。